

女子トイレの個室利用数を増やす方法

2023年 2月17日 第14回仕掛学研究会
大阪府立豊中高等学校 宮本、山本、伏田、渡邊

1. 背景

トイレ前の混雑を理由に、用を足すのを諦める人を減らすために、列の並び方を変える実験を豊中高校女子トイレで実施した。

2. 実験

以下の3つの実験を実施し、昼休み開始から10分間にトイレに来た人数と個室に入った人数を計測した。

実験① 普段通り

2023年11月8日(水)、11月10日(金)

実験② スズランテープの仕切り、貼紙(図1)

2023年11月15日(水)、11月17日(金)

実験③ スズランテープの仕切り、貼紙、足跡(図2)

2023年11月22日(水)、11月24日(金)

◎実験②③では、個室利用者と鏡・洗面台のみの利用者と分かれて並ぶ。



図1 スズランテープの仕切り



図2 足跡

	実験①	実験②	実験③
来た人数	133人	130人	112人
個室人数	31人	51人	48人

3. まとめと今後の課題

仕切りや足跡の設置により、10分間の個室利用数は増加した。通り抜け不可な仕切りにする必要がある。